

議会報告会 記録(概要) 報告書(観産1班)

開催日時	令和 5年 10月 11日 (水) 午後 9時45分 ~ 10時35分			
開催場所	日光市立今市中学校			
班 員	川島 憲朗	齋藤 文明	三好 國章	村上 正明
参加者団体・人数	今市中学校 3年5組 31名			
意見交換テーマ	①議会報告会の主旨・議会の役割などをわかりやすく説明、②生徒の皆さんがもし市会議員だったら、市の予算を使い人口減少対策、どうしたら人口が増えるかについて考え発表、③議員によるまとめ(総評)			
生徒からの質疑・意見・課題など		報告会の中で出た解決方法など		
1班 ○商業施設を増やす(スタバ・大型ショッピングモール・アニメイト) 和風の外観で世界の日光をアピール ○商業を始める人に支援する(クレープ屋・カフェ) 空き家を有効活用 ○公園など子供が遊べる場所をつくる ○世界遺産をもっとPRする(日光江戸村や温泉)		* 商業施設の充実には多額の投資とマーケティングが必要 * 企業誘致活動や創業支援制度のPRに努める * 福祉、養育のためにも主力となる公共施設は必要 * PR不足に対する更なる検討		
2班 ○制服の廃止・ジャージの配付 ○若者に向けて店や遊び場をつくる(特に温泉や京都みたいなまち)		* リユースやリサイクルに関する知識の向上や学校側の検討 * 若者が興味を持つことができるようなまちづくり		
3班 ○交通網を増やす(シャトルバスなど) ○大手飲食企業をつくる(楽しめる場所を増やす) ○自然を活かした建物や施設をつくる		* 公共交通機関の整備は喫緊の課題。人口分布をしっかりと見定めて改めて考える * 楽しめる場所の定義をしっかりと見定め、効率的な施設が必要 * 自然とマッチした施設の整備		
4班 ○でっかい駅をつくる(宇都宮のような) ○街灯を増やす		* 駅の改革にはJR・東武鉄道の理解と巨額な投資が必要。とはいえ、コンパクトシティ構想の一部として考える余地は十分にある * 日頃の街の暗さに不便を感じている生徒が少なくない。防犯上においても今後の検討		
5班 ○JR日光線に新幹線を通す ○子供が進学・進級につき20万円を支給する ○日光に住んでいる人、新しく住む人に商品割引券10枚プレゼントする ○公園・テーマパークを増やす		* お金の支給や商品割引券は、それぞれの目的別に助成金を用意しているものもある。HPなどを注視しながら適合する助成を受けてもらいたい * 公園やテーマパークは中学生らしい意見であるが、民間企業との擦り合わせが必要。企業誘致活動を進めていく上で、娯楽施設も含めて誘致することも有効手段と考える		
6班 ○出産・子育て・結婚等の支援		* 市の助成金制度を活用してもらいたい * 広報やHPのPR不足による意見であるかも知れないので、今後のPR方法など検討		
7班 ○大学をつくる。(色々な学科・外国人留学) 大学をつくれれば若い人が来る ○出産時の入院のお金の免除+α お金が結構かかるから ○働きやすい仕事場をつくる 働く場所がないと大学があっても戻ってしまふ		* 小学校、中学校、高等学校の統合が進む中での厳しい提案ではあるが、社会増としての人口増に期待することができる特殊な学部や学科を創設することで、特色ある大学となるかも知れない * 定住促進には企業の力が必要。引き続き企業誘致を推進		
【班としての総括・今後の方向性】 中学生の目線で様々な提案を聞くことができ、課題に対して真剣に向き合う姿勢はとても清しく感じた。 人口減少は解決が難しい問題であるが、中学生の視点で日光市の現状を見ると、大型店舗や商業施設、テーマパークや大学をつくるなど、楽しめる場所の提供が必要と考えている。また、結婚や出産・子育て支援に注目した生徒も多く、現実的に考えている傾向も見ることができた。 企業誘致や若年層への支援策など、楽しく暮らしやすい住環境の整備が必要であり、柔軟な発想で多くの課題に取り組むべきである。 今後も様々な場面で中学生の意見を聞く場を設けていくべきであると感じた。				

広報広聴委員長 様

上記のとおり報告いたします。

令和 5年 11月 26日

班長 川島 憲朗

議会報告会 記録(概要) 報告書(観産1班)

開催日時	令和 5年 10月 30日 (月) 午前 10時 30分 ~ 11時 20分			
開催場所	日光市立豊岡中学校			
班 員	川島 憲明	齋藤 文明	村上 正明	三好 國章
学校・クラス・人数	豊岡中学校 3年1組 23名			
議会報告会の内容	①議会報告会の主旨・議会の役割などをわかりやすく説明、②生徒の皆さんがもし市会議員だったら、市の予算を使い人口減少対策、どうしたら人口が増えるかについて考え発表、③議員によるまとめ(総評)			
生徒からの質疑・意見・課題など		報告会の中で出た解決方法など		
<p>1班○日光ドームをつくる ○娯楽施設をつくる</p> <p>2班○大型ショッピングモールの誘致 ○子育て支援の充実 ○保育施設を増やす ○賃金の増加</p> <p>3班○自然を生かした新しい施設をつくる ○日光県をつくる ○インターネットを使用して日光市の良さをアップする</p> <p>4班○育児などの支援(家事代行など)の充実 ○大きい医療機関の充実 ○飲食店などを増やす</p> <p>5班○大きなショッピングモールを建てる○遊園地を増やす ○美女を増やす</p> <p>6班○廃墟を利用して商店街をつくる ○夜のお店をつくる(飲み屋街など) ○子供を出産したらお金を支給する</p>		<p>1班は、日光ドームについて、ライブ会場やスポーツ競技場などを建設して賑わいのあるまちにするとの意見があった。1班については、交流人口増加への支援が必要であると考えた。</p> <p>2班は、大型商業施設の誘致や子育て支援の充実、保育施設の増設により、若者支援の充実との意見があり、2班については、若年層の支援が必要であると考えた。</p> <p>3班は、日光市特有の自然などを利用してPR活動を行い、日光市をもっと知ってもらいたいとの意見があり、3班については、企業誘致とDX促進等の支援が必要であると考えた</p> <p>4班は、大きい医療機関の充実や家事支援の充実、働く若者世代の支援、小児科や病院の充実を考え等の意見があり、4班では、病院施設の支援や家事代行といった代行支援が必要と思われる。</p> <p>5班は、美女を増やすこと、アイドルグループの聖地として日光をPRするとの意見があり、5班については、別な新たな観光資源として発掘できればと考える。</p> <p>6班は、夜のお店を増やす等の意見や、現状で夜遊べる場所や楽しめる場所が欲しいとの意見があり、6班については、店舗支援や店舗づくりが必要と考える。</p>		
【班としての総括・今後の方向性】				
<p>3年1組は、様々な意見があり、中学生から見る人口減少を増加させる取組において、現在の日光市の現状について「夜の店がさみしい」「大型ショッピングモールが欲しい」「楽しめる場所があると良い」など中学生ながら課題点を捉えていると思われる。一方で、子育て世代への支援についても、子育て環境の整備や病院の充実など、住みよい環境づくりなど身近で感じる親世代の苦労を感じている部分だと考えられ、それに対する支援を考えていると思われる。また、日光市をもっとPR拡大して知ってもらふ必要性も考えの一つである。今後の方向性については、企業誘致と日光市独自の住環境整備や子育て支援をもっと拡大して、住みよい日光市を考えていくことが人口増加をさせる取組であると考えられる。</p>				

広報広聴委員長 様

上記のとおり報告いたします。

令和 5年 11月 7日

班長 川島 憲明